

東北海区沿岸水温予報(2017年)

海域	経過 (12~1月)	現況(2月上旬~ 2月中旬)	見通し (3~4月)	見通しの背景	特異現象 (漁海況)
三陸北部 (青森県 太平洋沿岸; 青森水総研発表)	<p>・太平洋沿岸定地水温 12月は「やや低い」~「平年並み」、 1月は「やや低い」~「平年並み」。</p> <p>・太平洋定線観測(12/3-6) 12月太平洋沖合定線観測では、津 軽暖流の各層最高水温は0m層、50 m層、100層共に「やや高い」、水塊 深度は「はなはだ深い」、張り出し位 置は「はなはだ東偏」。</p> <p>・日本海定線観測(12/8-9) 12月日本海沿岸定線観測では対馬 暖流の各層最高水温は0m層、50m 層、100層共に「平年並み」。</p>	<p>・太平洋沿岸定地水温 2月上旬は「やや低い」、2月 中旬は「平年並み」。</p> <p>・日本海定線観測(2/9-10) 2月日本海沿岸定線観測では対馬暖流の各層最高水温は0m層、50m層、100層 共に「平年並み」。</p>	概ね「 平年並み 」で推移 する。	直近の太平洋沿岸定地水温、日本海海洋観測結果が「 平年並み 」であったこと、 FRA-ROMS の予測でも同様の傾向が持続することから、概ね「 平年並み 」で推移すると考えられる。	特になし。
三陸中部 (岩手県沿岸; 岩手水セ発表)	<p>【観測日:11月29日~12月3日】 ＜表面水温＞ 10海里以内は12~13℃台であり、県 北部~県中部でやや低めであっ た。10海里以東では、県北部の40~ 50海里でやや高めであった。 ＜100m深水温＞ 県北部の30~50海里及び県南部の 30~40海里でやや高め、県中部の 40海里でやや低めであった。 【観測日:1月25日~26日】 ＜表面水温＞ 10海里以内は8~9℃台であり、全域 でやや低めであった。10海里以東では、 県北部の30海里及び50海里付 近でやや高めであった。 ＜100m深水温＞ 県北部の20~30海里から県中部の 20海里にかけてやや高め、県中部 の50海里で低めであった。</p>	<p>【観測日:2月14~16日】 ＜表面水温＞ 10海里以内は7~8℃台で あり、県中部の10海里でや や高めであった。10海里以 東では、県北部~県中部の 10海里以東でやや高め~高 めであった。 ＜100m深水温＞ 県北部~県中部の10海里 以東でやや高め~高め、県 中部~県南部の50海里で やや低めであった。</p>	3月は、100m 深では黒 埼沖 40 海里、トドヶ埼 沖 10、30 海里でやや 高めのほか、概ね全 域で 平年並み 、各0海里 定点の 10m 深は 平年 よりやや高めと予測。	農林水産省「食料生産地域 再生のための先端技術展 開事業」において開発した 水温経験的予測システムを 用いて解析した。	ケガニ(かご) の漁獲は極 めて低調に 推移してい る。 スルメイカ(い か釣・底びき 網)の漁獲は 低調に推移し た。
三陸南部 (宮城県沿岸; 宮城水セ発表)	<p>【12月】 ＜表面水温＞ 13~18℃台で 142° 30' E 以西 では概ね平年並、以東では1~3℃ 高めであった。 ＜100m 深水温＞ 3~16℃台で平年より1~4℃高め であった。 【1月】 ＜表面水温＞ 9~12℃台で概ね平年並であっ た。 ＜100m 深水温＞ 10℃台で概ね平年並であった。</p>	<p>【2月】 ＜表面水温＞ 表面水温は6~10℃台で平 年並から1℃高めとなっ ている。 ＜100m 深水温＞ 8~10℃台となっており、 平年並から1℃高めとなっ ている。</p>	<p>【3月】 ＜100m 深水温＞ いずれの海域も平年並 で推移する。 【4月】 ＜100m 深水温＞ いずれの海域も平年並 で推移する。</p>	水温経験的予測システム の主成分スコア自己回帰 モデルによる予測	
常磐北部 (福島県沿岸; 福島水試発表)	<p>【12月】 ＜表層水温＞ 県北:沿岸、沖合ともに「平年並み」 県中:沿岸は「やや高め」、沖合は 「平年並み」 県南:沿岸は「高め」、沖合は「平年 並み」 ＜100m深水温＞ 県北:沿岸は「平年並み」、沖合は 「やや高め」 県中:沿岸、沖合ともに「やや高め」 県南:沿岸は「極めて高め」、沖合は 「平年並み」 【1月】 ＜表層水温＞ 県北:沿岸は「やや高め」、沖合は欠 測 県中:沿岸は「高め」、沖合は欠測 県南:沿岸は「高め」、沖合は欠測 ＜100m深水温＞ 県北:沿岸は「やや高め」、沖合は欠 測 県中:沿岸は「高め」、沖合は欠測 県南:沿岸は「高め」、沖合は欠測</p>	<p>【2月】 ＜表層水温＞ 県北:沿岸は「平年並み」、 沖合は「やや低め」 県中:沿岸は「高め」、沖合 は「極めて高め」 県南:沿岸、沖合ともに「極 めて高め」 ＜100m深水温＞ 県北:沿岸、沖合ともに「平 年並み」 県中:沿岸は「高め」、沖合 は「極めて高め」 県南:沿岸、沖合ともに「極 めて高め」、 上旬は親潮系冷水の波及 が例年より弱く、黒潮系暖 水の波及が強かったが、中 旬から親潮系冷水の波及が 強まり、黒潮系暖水の波及 がやや弱まった。</p>	<p>【3月】 高め基調で推移する。 【4月】 高め基調で推移する。</p>	気象庁の1ヶ月予報(平 成29年2月10日発表)にお いて、親潮南限位置は 「38.5° N、146° E」と北偏、 親潮の面積は「 平年 より小 さい」、黒潮流路は房総半島 で離岸傾向と予想されてい る。 FRA-ROMSによると、3月 は本県海域への黒潮系暖 水の波及は引き続き強く、 親潮系冷水の波及は弱いと 見込まれている。4月も引 続き黒潮系暖水が強く、親 潮系冷水の波及は弱いと見 込まれている。 以上のことから、3月、4月 ともに高め基調で推移する と予測した。	

	<p>※ 県北:37-50N、県中:37-25N、県南: 37-00N 沿岸:142-00E以西、沖合:142-15E 以東</p>				
常磐南部 ～鹿島灘 (茨城県沿岸; 茨城水試発表)	<p>12月は、全域で「平年並み～やや高め」となり、会瀬～大洗定線では「高め」の点もみられた。 1月は、暖水の影響により会瀬～大洗定線で「やや高め～高め」、鹿島～犬吠埼定線で「平年並み～やや高め」であった。</p>	<p>2月は、暖水の影響が残り、会瀬～大洗定線では引き続き「やや高め」であった。鹿島～犬吠埼定線では「平年並み～やや高め」。</p>	<p>「平年並み～やや高め」で推移する。</p>	<p>①自己回帰モデルによると、3～5月は「平年並み～やや高め」で推移する予測。 ②気象庁によると、親潮の面積は平年より小さく、向こう1ヶ月の海面水温は「平年並み～平年より高い」との見通し。 ③FRA-ROMSによると、3月上旬および4月上旬の水温は「やや高め」の予測。</p>	<p>①12月の海洋観測において、会瀬・大洗定線の一部で12月としては史上最高水温が観測された。 ②1月も同様に、会瀬定線の一部で1月の観測史上最高水温が観測された。 ③12～1月、那珂湊定地水温の月平均値が近年で最高の値となった。 ④12月上旬、常磐南部沖でまき網によりウルメイワシの産卵親魚が漁獲された。 ⑤1月、サヨリ2艘曳き船にサゴシ、ダツが多く混獲された。</p>

各階級の水溫平年偏差の範囲

階級区分(出現率)	三陸北部	三陸中部		三陸南部	常磐北部	常磐南部～鹿島灘
		距岸 10 海里内	距岸 10～70 海里			
極めて高い(2.5%)	+3.1℃～	+3.7℃～	+5.8℃～	+5.7℃～	+4.8℃～	+6.1℃～
高い (7.5%)	+2.0～+3.0℃	+2.4～+3.6℃	+3.8～+5.7℃	+3.7～+5.6℃	+3.1～+4.7℃	+4.0～+6.0℃
やや高い (20%)	+0.8～+1.9℃	+1.0～+2.3℃	+1.5～+3.7℃	+1.5～+3.6℃	+1.2～+3.0℃	+1.6～+3.9℃
平年並 (40%)	+0.7～-0.7℃	+0.9～-0.9℃	+1.4～-1.4℃	+1.4～-1.4℃	+1.1～-1.1℃	+1.5～-1.5℃
やや低い (20%)	-0.8～-1.9℃	-1.0～-2.3℃	-1.5～-3.7℃	-1.5～-3.6℃	-1.2～-3.0℃	-1.6～-3.9℃
低い (7.5%)	-2.0～-3.0℃	-2.4～-3.6℃	-3.8～-5.7℃	-3.7～-5.6℃	-3.1～-4.7℃	-4.0～-6.0℃
極めて低い(2.5%)	-3.1℃～	-3.7℃～	-5.8℃～	-5.7℃～	-4.8℃～	-6.1℃～